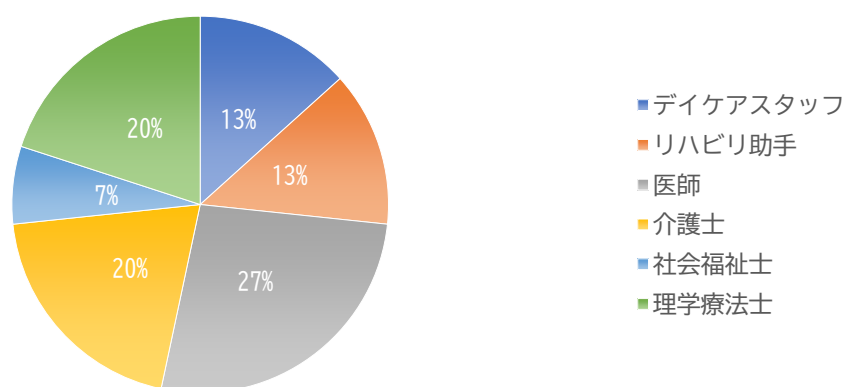


地域医療介護連携セミナー 「介護者と利用者のさまざまな痛みについて話し合う」 アンケート集計結果

2023年12月2日（土）15：00～17：00（ハイブリッド開催）

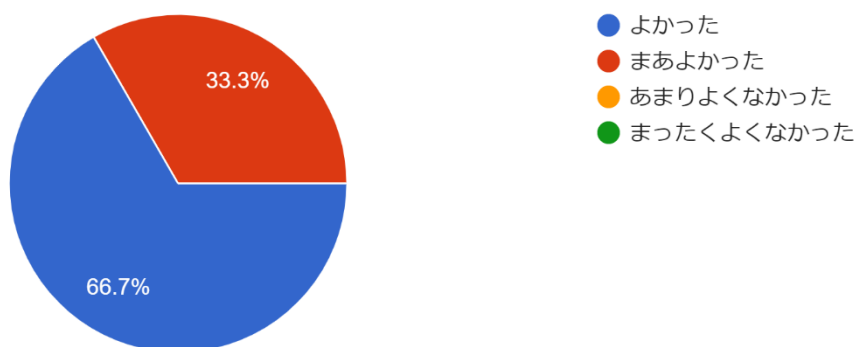
参加者数 計 56 名（オンライン 41名 現地参加 5名 登壇者 10名）

あなたの職種を教えてください。（15件の回答）



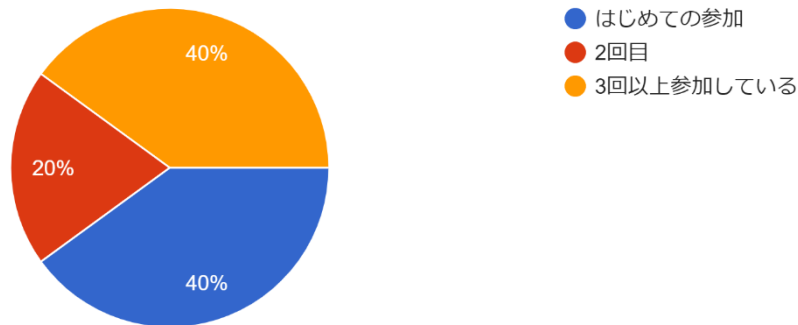
今回のセミナーの感想をお聞かせください。

15件の回答



今回本事業の「地域医療介護連携セミナー」への参加は何回目ですか？

15件の回答



感想や意見をお聞かせください。

- ・臨床で抱えてる悩みと共感できる要素あり
- ・福祉用具の新たな知識を得ることができた。
- ・他職種の視点が知れて良いです！
- ・また参加したい
- ・平行移動した方が患者さんにも負担なくできるのでやっていこうと思いました。
- ・普段聴くことが少ない福祉用具、地域の心理士の話題は興味深かったです。一つ一つをじっくり伺い、質疑応答していただきたいほどでした。
- ・臨床心理士のお話、リアルに介護職として実感しています。また福祉用具も在宅でもご利用者がアドバイスなく購入してしまっていたりうまく活用できていないことも多いです。専門職以外の方にも啓発が大切だと感じています。
- ・臨床心理士が自宅を訪問するというのが、まだ珍しいことだということは、アウトリーチ型の支援は浸透していないのでしょうか？
- ・現状をもっとお聞きしたいと思いました。また、介護者と介護される人に安心、安全な技術を考える時、ノーリフティングケアの考え方が重要だと思いました。”
- ・介護保険課で働いています。要支援1、2、要介護1は車椅子、特殊寝台は原則対象ではありません。制度上、簡単に借りられません。医師の意見を貰う必要があります。それを医療・介護職が連携することが大切だと痛感しております。医療職が行政に居る以上、溝は埋めるべきですし、同職教育ではなく多職種教育を産官学連携していきたいです。今後ともこのような機会をお願い致します。
- ・車イスへの移乗の仕方などが勉強になりました。

今後どんな企画を希望されますか。

- ・痛みが強い方への対応方法の紹介
- ・介護と AI
- ・他市の先行事例は、首長の旗振りで劇的に変わります。ただトップダウンでは長続きしません。首長には任期があるので…。なので既存にある協議体からでも構いません。予算あつての行政ですし、直ぐ国は変えられません。首長からトップダウンかつ、明日は我が身と市民、一般行政職でも分かりやすい医療と介護の重要性を伝えて頂けると有難いです。
- ・認知症の方との会話のバリエーション

このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

15件の回答

